

鳥栖市投げ込み資料

平成29年8月18日

報道機関各位

鳥栖市総合政策課長 鹿毛 晃之

佐賀大学「実践インターンシップ」の開始について

国立大学法人佐賀大学と鳥栖市では、平成29年8月21日（月）より「実践インターンシップ」を開始いたしますのでお知らせします。

記

1. 実践インターンシップについて

平成29年度より、佐賀大学経済学部で開設される授業科目「実践インターンシップ」（単位制インターンシップ）を通じて、同学生の鳥栖市への研修機会を創出し、大卒者等の地元就職率の向上と地域産業の振興による雇用の拡大・創出を図り、地方創生の推進に寄与することを目的とする。

本事業は県内自治体としては初めての取組であり、昨年度、鳥栖市職員採用試験を人物重視の試験に変更したと相まって、さらなる組織・人材の活性化につながることも期待される。

2. 実践インターンシップの内容について

別紙のとおり

（担当）総合政策課政策推進係 有馬

TEL 85-3511

佐賀大学との 「実践インターンシップ」の開始について

平成29年8月18日
鳥栖市総合政策課

1. 概要と目的

- 実践インターンシップとは、平成29年度より佐賀大学経済学部で開設される授業科目であり、**単位制のインターンシップ**。
- 同学部学生の鳥栖市への研修機会を創出し、**大卒者等の地元就職率の向上**と地域産業の振興による**雇用の拡大・創出**を図り、**地方創生の推進**に寄与することを目的とする。
- 本事業は、県内自治体では鳥栖市が初めての取組であり、昨年度、鳥栖市職員採用試験を人物重視の試験に変更したことと相まって、さらなる**組織・人材の活性化**につながることも期待される。

2. 実施の背景

- 佐賀大学は、平成27年度文部科学省事業「地（知）の拠点大学による地方創生推進事業（COC+）」の採択を受け、5年間で県内の企業・県内自治体等と協働し、**大卒者の地元就職率向上を推進**することとしており、この一環として実施するもの。

3. これまでの経緯

平成28年 9月	佐賀大学経済学部より市へ協力依頼
平成28年11月	市から佐賀大学へ学生の受入可能業務・人数を提示 → 延べ10課37人
平成29年 4月	佐賀大学と市にて「実践インターンシップ」に関する協定書締結

4. 実践インターンシップの内容

(1) 実施日程

平成29年8月21日（月）～25日（金）の5日間

ただし、スポーツ振興課・生涯学習課 → 8月22日（火）～26日（土）

文化芸術振興課 → 8月21日（月）、23日（水）～26日（土）

(2) 受入学生（10名）と受入部署（6課）

実習内容は、「職場体験・理解型」を基本としつつ、学生が市の課題について解決策を考える「課題解決型」の要素を可能な範囲で取り入れることとしている。

学年	性別	受入課名	主な実習内容
3年	男	総合政策課	定住人口・交流人口拡大、企業誘致・雇用創出などの視点から地方創生関連施策を検討、新市庁舎整備に関する検討
3年	男	社会福祉課	高齢者自身の健康維持向上や高齢者を支える担い手の確保を目的とした各種介護予防教室に参加すること等により実態を把握し、高齢者を支える担い手不足などの課題解消に向けた提案を行う。
2年	男		
3年	女	文化芸術振興課 (市民文化会館)	事業広報のチラシの折り込み・公演事業の準備などの職場体験、大学生世代のチケット購入方法の現状把握、チケット販促の効果的な広報手段の検証
3年	女		
3年	男	スポーツ振興課	Jリーグ公式戦（8/26）開催に関連する業務、来場者に関する調査・分析（交通手段等）、スタジアムの課題に関する討議
3年	男		
3年	男	市民協働推進課	まちづくり推進センターの講座、教室開催関連業務、運営業務（接客、清掃等）、地域における「高齢者福祉」、「子育てや子どもの居場所づくり」、「地域活動の担い手の育成」等の課題に関する提案
3年	男	生涯学習課 (市立図書館)	図書館の基本的業務（貸出返却等窓口業務・配架・書架整理など）、効果的・効率的な図書館運営に向けた解決策の提案
2年	女		

2

(3) 鳥栖市庁舎に関する意見交換会の開催

【日時】8月25日（金）10：00～

【場所】市役所1階第1会議室

【内容】鳥栖市庁舎に関する意見交換会

【備考】実践インターンシップに来られる10名の学生の方と、新市庁舎整備に向けた意見交換会を開催予定。

3